

学生の皆様  
保護者の皆様

## 令和2年度 後期開始にあたって ～学長メッセージ～

今年度、わが国は新型コロナウイルス感染症の拡大という目つて経験したことがない危機に直面し、日本の大学も前期は大都市圏を中心に長きに渡るキャンパス閉鎖とオンラインでの授業実施という、暗中模索を余儀なくする緊急対応に迫られました。

感染の拡大と収束が繰り返される中、わが国は新しい生活様式を導入し、経済活動と感染防止を両立させる道を模索しようとしています。

本学は、このような状況下でも、適切な感染予防措置を講じた上で、後期はキャンパスを可能な限り開放し、これまで同様に感染防止対策を徹底し、キャンパスでの対面授業とオンライン授業を併用して実施していく予定です。学生の皆さんに学ぶ機会とキャンパスライフをできる限り保障していくことが、私たち大学教職員として果たすべき責務であると考えています。

一方で、学内外で学生同士が交流する機会が多くなることは、感染リスクが高まることにつながります。感染に気づかず学生がキャンパス内で活動した場合に、クラスターが発生する恐れがあり、その範囲が大規模なものとなることが懸念されます。幸い本学ではまだその事例は発生していませんが、他大学では学生に感染者が発生し、その感染経路の多くは、学外での会食や飲み会であることが判明しています。

私たちは、学生の皆さんがキャンパスでの充実した学びを継続するためにも、また、学生、教職員、そのご家族の生命と健康を守り、地域における感染拡大を防止するためにも、本学に集う皆さんが引き続き

- ① **体調管理（検温等）を行うとともに、**
- ② **基本的な感染予防対策であるマスクの着用と手洗い、咳エチケットの遵守と、**
- ③ **学内外で行動する際に3つの密（密閉・密集・密接）を回避することに加え、**
- ④ **大人数や長時間の飲食会等についても極力自粛することもお願い致します。**

しかしながら万全を期していても、感染の可能性は誰にでもあります。感染者への誹謗中傷は決して許されることはありません。それは、感染の隠蔽につながり、結果的に感染拡大を招くこととなります。学生の皆さん一人ひとりが、感染拡大防止のためにどのように行動すべきかを真剣に考え、責任のある行動をとられるよう心からお願いいたします。

令和2年10月1日

日本医療科学大学

学長 新藤 博明